

地域特産作物省エネ型施設導入緊急対策事業に関する事業評価票

本事業により省エネ型施設を導入した加工場名	品目名	燃油種類	現在 (単位: %/kg)	本年度 (平成30年 度)	目標 (平成26年度) (単位: %/kg)	削減量 (単位: %/ kg)	削減率(%)	達成率	自己評価	農政局の評価
(農)山東茶業組合	茶	A重油	0.143	0.125	0.106	0.018	12.6	(実績:0.125-現状: 0.143)÷ (目標:0.106-現状: 0.143)×100 =48%	平成30年度の実績を検証したところ目標値0.106/kgに対し0.125/kgとなった。結果は旧式燃焼炉に比べ13%削減出来たが、目標達成には至らなかった。本年度の経営状況としては荒茶生産量252,502.3kg(前年244,262.2kg)荒茶販売高339,234,320円(前年341,885,760円)であり、昨年対比としては荒茶生産量103.3%荒茶販売高99.2%で、生産量は前年を上回ったものの販売高は△2,651千円下回った。一方で導入した燃焼炉製造ラインでの燃油消費量は前年0.160%/kgに対し0.125%/kgで、前年対比で21.8%削減できたことで製造費の削減が図られており目標達成には至らないものの導入効果は発揮されており。今後も燃油経費を少しでも削減し効率の良い経営を継続するため改善計画に則り省エネ製造に精進して参ります。	計画に即した取組が行われたが、実需者ニーズがより深蒸し茶へシフトしたことにより、成果目標が未達成であるため、目標値の計算方法を見直した改善計画を作成するよう指導する。
(農)五明茶業組合	茶	A重油	0.114	0.112	0.087	0.002	1.8	(実績:0.112-現状: 0.114)÷ (目標:0.087-現状: 0.114)×100 =7%	今回、省エネ施設の燃料消費実績を検証したところ、目標0.087/kgに対し0.112/kgとなった。改善策に従い出来る限り低燃費運転を心がけたが目標値には届かなかった。組合の状況として前年度(H29)と本年度(H30)の実績を対比すると生葉受入量745,571.1kgに対し854,551.0kgで114%に増加、売上では170,172千円に対し172,748千円と101%と増加しております。今後も省エネで高品質茶生産に精進して参ります。	計画に即した取組が行われたが、実需者ニーズがより深蒸し茶へシフトしたことにより、成果目標が未達成であるため、目標値の計算方法を見直した改善計画を作成するよう指導する。